

# グローミン

男性ホルモン剤

ご使用前にこの説明文書を必ずお読みください。  
また、必要な時に読めるよう保管してください。

「グローミン」は、有効成分として男性ホルモンであるテストステロンを配合した医薬品です。テストステロンの分泌は、男性の場合、一般的に第二次性徴期から急上昇した後、30歳頃まで旺盛ですが、その後は加齢とともに衰えて、40歳代後半から顕著に減少します。男性更年期や初老期のうつなど、性機能の衰えに代表される諸症状の発現は、この頃から多くなります。また、加齢が原因だけでなく、ストレスなどが原因で急激に分泌が衰えることもあります。「グローミン」は、男性ホルモンの分泌不足を皮ふから補充して、分泌不足にもなる諸症状の改善を期待できるクリームです。



## 使用上の注意

\*本剤の有効成分（テストステロン）は前立腺腫瘍を進行させる恐れがあります。

- 特に55歳以降は前立腺腫瘍の罹患率が高まるため、55歳以上の男性が初めて本剤をご使用いただく前には泌尿器科を受診して前立腺の検査をして正常であることを確認すること。
- 本剤を続けてご使用になる場合は、6ヶ月毎の前立腺の定期検査をすること。
- 前立腺検査の結果、異常があった場合には直ちに本剤のご使用を中止して、お客様相談室(本書の後方参照)までご連絡ください。

### ⊗ してはいけないこと

(守らないと現在の症状が悪化したり副作用が起こりやすくなります)

- 次の人は使用しないこと
  - ご使用前に本剤をチューブから5mm程度出し、内股などの皮ふのうすい所にすり込んで、翌日中に薬疹、発赤、かゆみ、かぶれ、はれなどの現れる人。
  - 塗る所又は局所に、外傷、炎症、湿疹、ただれ、化膿などのある人。
  - 排尿困難を伴う前立腺肥大のある人。
  - 前立腺腫瘍(悪性)のある人。
  - 前立腺検査の結果、前立腺特異抗原(PSA)の値が2.0ng/ml以上の人(最終的な判断は主治医に従うこと)。
  - 小児。
- 次の部位には使用しないこと
  - 目や目の周囲。
  - 陰茎部先端(尿道口)。
- 本剤を使用している間は、同じ成分を含んだその他の医薬品を使用しないこと
- 内服用に使用しないこと
- 本剤が出すぎた場合は、チューブに戻さないこと



### 相談すること

- 次の人はご使用前に医師又は薬剤師に相談すること
  - 現在医師の治療を受けている人。
  - 前立腺肥大ではあるが、排尿困難を伴わない人。
  - 薬や化粧品によりアレルギー症状(発疹、発赤、かゆみ、かぶれ、はれ、水泡など)を起こしたことがある人。
  - 本人又は家族がアレルギー体質の人。
  - 心臓病、腎臓病の人。
- 次の場合は、使用を中止し、この説明文書を持って医師又は薬剤師に相談すること
  - 使用后、次の症状があらわれた場合。

関係部位	症 状
皮ふ(塗った所)	発疹、発赤、はれ、かぶれ、かゆみ、水泡

- 1ヶ月程度使用しても症状の改善がみられない人。
- 誤った使い方をしてしまった人。

### その他の注意

- ご使用前には、手指を洗ってください。
- 塗布部を清潔にしてからお使いください。

裏面もお読みください。

## ■ 有効成分と本質 ■

1 g中に次の有効成分を含んでいます。

有効成分	1 g中	本質
「局外規」テストステロン	10mg	男性ホルモン

添加物として白色ワセリン、ステアリルアルコール、プロピレングリコール、ポリオキシエチレン硬化ヒマシ油60、モノステアリン酸グリセリン、メチルパラベン、プロピルパラベンを含有する。

## ■ 適 応 症 ■

男性ホルモン分泌不足による性器の神経衰弱の諸症即ち勃起力減退、早漏、陰萎、性欲欠乏、性感減退、遺精、睾丸欠落症、先天性睾丸发育不全。脳下垂体性腺ホルモンが無効の潜伏睾丸。女性恥部無毛症、乳汁の分泌抑制。

### 【用語の解説】

「勃起力減退」とは勃起機能の衰えを指します。

「陰萎」とは陰茎の張力の低下や勃起の低下を指します。

「遺精」とは勃起が不十分なうちに射精してしまうことを指します。

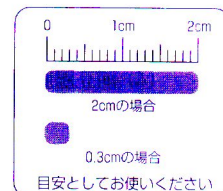
「潜伏睾丸」とは両側の睾丸が腹の中に停留していることを指します。

## ■ 用法及び用量 ■

適量を局所に塗擦する。

## ■ 詳しいご使用方法 ■

- (1) ご使用前は、手指をよく洗い、塗る所に傷などが無いことをご確認ください。
- (2) 入浴後のご使用をおすすめ致します。
- (3) 1日2回(朝晩)、本剤をチューブの先から2cm(右図参照)程度を目安に指先にとり、局所へ良くすり込んでください。  
その後、症状の改善が認められましたら、1日1回に減らしてください。なお、塗る部位は、吸収の良い陰のう(睾丸)部をおすすめしています。(腕の内側の吸収を1とすると、背中中は1.7倍、わきの下は3.6倍、ひたいは6倍、陰のうは42倍の吸収となります)。
- (4) 女性恥部無毛症、乳汁の分泌抑制でご利用の場合には、本剤をチューブの先から0.3cm(右図参照)程度を目安に指先にとり、患部に良くすり込んでください。



## ■ 保管及び取扱い上の注意 ■

- (1) 直射日光を避け湿気の少ない涼しい所に密栓して保管してください。
- (2) 小児の手の届かない所に保管してください。
- (3) 他の容器に入れ替えないでください。(誤用の原因になったり品質が変わります)
- (4) 使用期限を過ぎたものは使用しないでください。
- (5) 本剤のついた手で、目や粘膜に触れないでください。
- (6) 外用にのみ使用してください。


— お問い合わせ先 —

大東製薬工業株式会社 お客様相談室

☎ 0120-246-717

受付時間 9:00~12:00、13:00~17:00

(土、日、祝祭日、弊社休業日を除く)

製造販売元  大東製薬工業株式会社

山梨県甲府市川田町字正里624番地2 (アリア207)

裏面もお読みください。